

木更津市消防団だより

回 覧



「纏」まとい

2011.2月号

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(消防総務課)
2011年2月発行
VOL.13

平成23年 出初式

木更津市消防出初式が、1月9日(日)午前8時30分から木更津市役所西側駐車場で行われました。



当日は、天候に恵まれ、昨年の消防操法大会、早出し放水競技大会での優勝チームの演技、消防署による高所救助演技が行われました。

消防広場では、煙体験コーナー、消防車との撮影会、お絵かきコーナーなど楽しい催し物が行われ子供達も大喜びの催しとなりました。



春季消防演習 実施のお知らせ

◆演習日時
平成23年2月20日(日)
午前9時

◆演習場所
金田地区
真里谷地区



◆演習目的

この演習は、春の火災予防運動に伴い、激増かつ複雑多様化する災害に対処するため木更津市消防団地震災害対応マニュアルに基づき消防団員の募集訓練を行い、火災防ぎよ及び各部門の連携強化と指揮伝達の緻密化等をテーマに中継訓練を実施し、あわせて消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民への防火思想の普及に努めることを目的とします。

当日は、サイレンの吹鳴や交通規制などで、訓練場所周辺の皆様方にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

「本部紹介」 木更津市 消防団本部

消防団本部とは団長、副団長、本部長からなり総務・活性化担当、教養担当、消防担当に分かれ年間行事の企画立案を行っています。また各行事では団長を中心に全団員の総指揮、進行を行っています。

―役員紹介―

団 長 齊藤多喜雄	大木伸夫
副団長 竹内克哉	杉山秀知
副団長 地曳貞夫	竹内誠一
副団長 篠崎哲也	
本部長 細野 暢	
烏飼武司	
飯塚正統	
泉水秀行	
奈良本浩規	



やけどの知識を 身につけよう

誰でも経験があるやけど。

やけどは誰でも軽度のものであれば一度は経験したことのある疾患です。

例えば熱いお鍋に腕が触れてしまった時や、夏の日には火をしていて火の粉が飛んできたり、天ぷらの油がはねたなど、ちよつと注意がそれたときに思わずやけどをしてしまったことが誰にでもあると思います。このように日常には、やけどの原因が多くありますが注意をすれば予防できる疾患であります。

小さなやけどであれば、放っておいても治ると考えてしまえますが、やけどは意外と軽視できないことが多く、それというのも、やけどは範囲の広さだけでなく、皮膚のどのくらい深くまで熱で傷ついたかも、その重傷度に関係してきます。その一瞬はなんでもなくとも、時間の経過によって、ひどい水膨れになっていた、という経験のある人も多いと思います。



やけどの 応急処置

やけどをした時の応急処置で最も大切なことは、患部を水で冷やすことです。冷やすことにより痛みを軽くし、悪化を防ぐこともできます。

◎できるだけ早く水道水などの清潔な流水で十分に冷やします。

◎靴下など衣類を着ている場合は、衣類ごと冷やします。

◎氷やアイスバックを使って長時間冷やすと、冷えすぎてしまい、かえって悪化することがあるので注意します。

◎広い範囲にやけどをした場合は、やけどの部分だけでなく体全体が冷えてしまう可能性があるがあるので、冷やす時間は、10分以内にとどめます。

◎小さい子供や老人は、比較的小さなやけどでも命に関わることもあるので注意します。

自宅に対処しきれない場合は、医療機関に行くことをおすすめします。

木更津市に 特別配備

5分団3部（高倉、草敷地区）に平成22年3月に新配備された車両を紹介します。

大規模災害発生時に活躍できるよう消防団救助資機材を搭載した車両となっており、車両及び資機材は総務省消防庁より無償貸与され、各都道府県毎に5台、千葉県で5台の中の1台に木更津市が選ばれました。

小型ポンプに加え手動式油圧カッター、エンジンカッター、チェーンソー、担架、AED等、消火及び救助資機材をシャッター式荷台に搭載した真っ赤な真新しい消防車は市民の安心安全に一役買うことでしょう。



コラム

火の見せむら

みなさん「火の見やぐら」をご存じですか？懐かしいと思う方、何それ？と思う方それぞれだと思えます。

そもそも火の見やぐらとは、かつて日本中の集落に存在した建造物で、火災の発見または、火災の周知等に活用した最上段に半鐘が備えられた見張り台でした。調べたところによると一八九四年（明治27年）の消防組規則のもとに各府県において定められた施行細則によって設置が規定されたと書かれています。



撮影：写真家 綱代守男氏

例えば火の見単位というのが提唱されています。火の見やぐらから見渡せる範囲、半鐘の音が聞こえる範囲の事を指しています。また、市民

一人一人が、生活単位を見直すことがこれからの防火活動に繋がると思えます。
是非、地域防災に、今一度目を向けてみていただければと思います。

地域の防災リーダー

消防団員募集！

災害に強い

まちづくり

参加しませんか

消防団活動は、市民の手による防災活動の一つです。現在、601人の市民が消防団に所属、火災や火災予防のほか、地震・風水害などの大規模災害時にも活動に当たります。

●入団資格 18歳以上45歳未満で市内在住の健康な人。(男女は問いません)

●活動内容 火災・地震・津波などの被害を軽減し、市民の生命・身体・財産を守ります。

●身分 地方公務員(非常勤特別職) ※本職とは別に役割を持つ、地域社会への奉仕活動です。

●処遇 公務によるけがなどは公務災害補償制度が適用されます。

問い合わせ先

木更津市消防本部消防総務課
☎(22)0119
またはお近くの消防団まで